

## 甲斐市教育委員会第5回定例会議事録

- 1 日 時 令和7年8月26日（火）午後1時30分
- 2 場 所 甲斐市役所 新館2階 防災対策室
- 3 開 会 午後1時30分
- 4 出席者 【教育長】内藤和彦教育長  
【委 員】米山祐希職務代理者 小林啓子委員  
金子初男委員 千野国弘委員  
【説明員】大寫正之教育部長 小田切英規教育総務課長  
小山田拓也学校教育課長 大柴宏之生涯学習文化課長  
樋口一朗図書館長 小野貴博学校教育指導監  
長田大地学事係長
- 5 傍聴人 なし
- 6 事務局 内野真理教育総務係長 古屋善之教育総務係員
- 7 議事録署名委員の指名 D委員 B委員
- 8 前回議事録の承認 令和7年度 第4回定例会議事録 「承認」
- 9 教育長からの報告
- 10 議 題  
第1号 令和7年度9月補正予算（案）〔教育費関係〕について  
第2号 令和7年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
- 11 その他  
（1）甲斐市いじめ防止連携会議委員の委嘱等について  
（2）令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について  
（3）山県大弐生誕300年記念事業について  
（4）9月の行事予定について
- 12 閉 会 午後2時45分

○開 会

教育長                   開会を宣する。(午後 1 時 30 分)

○あいさつ

教育長                   改めましてこんにちは。

8 月も下旬になりましたが、猛暑の夏がまだ続いています。地域によっては、台風、豪雨、そして地震など自然の猛威に注意を払わなければならない夏休みでした。最近では市街地にも熊が出るなどのニュースも耳にします。災害等にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。

子どもたちの夏休みが間もなく終わります。夏季休業に合わせ、図書館や公民館では、子どもや親子向けの講座、イベントなどを多数開催していただきました。企画運営にはご苦労があったと思います。ありがとうございました。市内の小中学校では、29 日に 2 学期の始業式を予定している学校が一番多い状況です。2 学期は、1 年の内で、最も登校日数が多い学期です。9 月中旬から下旬にかけて中学校では学園祭、10 月 4 日には小学校で運動会が計画されております。2 学期も子ども達の学校生活がますます充実しますよう、学校、家庭、地域、そして行政が協力して取り組んで参りたいと考えております。

さて、全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。本市の結果については、後ほど担当から説明がありますが、学力では、全国や山梨県とほぼ同等の結果となっております。また、学習状況調査では、小学校、中学校ともに、高い数値を示している項目では、「自分には良いところがあると思う」「学校に行くのは楽しい」「先生はあなたの良いところを認めてくれていると思う」「普段の生活で幸せな気持ちになることがある」「いじめはどんな理由があっても許されない」「人が困っているときは進んで助けている」「学校生活では、友達や周囲の人の考えを大切にしながら課題を解決している」などがあり、自己肯定感が高いことや学校生活に満足している様子がうかがえます。

一方、数値が低い項目として、「読書の時間」「新聞を読む」があげられます。この調査結果を踏まえ、今後、課題を検証し、各学校においては、引き続き授業の工夫や改善に努め、児童・生徒の学力向上に取り組むよう、また、満足した学校生活を送られるように指導・支援して参りたいと考えております。

9月をまもなく迎えますが、気温30度を超える日も続くようです。委員の皆様には、体調管理に十分ご留意いただくとともに、引き続き教育委員会活動にご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

ここまでの挨拶ですが、調査結果の感想を少し述べたいと思います。

先程、読書の時間が非常に短いという調査結果でしたが、大人も同様であり、子どもだけの課題ではないと思っています。「ほとんど読まない」「1週間で1冊も読まない」が一番多い割合となっています。読書離れ、図書館に行かない、本屋さんも少なくなっています。本屋さんに行きたくても行けない町もあります。このような状況の中で情報をどのようにして取るのか、先日情報番組の中で、インターネット・SNSが今の若者の一番の情報収集道具と言われました。そうすると好きなもの、興味のあるものにまずアクセスし、そこから取る、その他のものにはいかない、自分に興味のない情報は、ノイズになっているのではないかと報道番組の有識者が話しておりました。そのような中で思ったことが、今日の資料でお渡しした「雨の押し出し 心は晴れ」です。これは怪物江川の話ですが、私は当時小学6年か中学1年の頃でしたが、その試合を見ていました。「銚子商業に江川が負けたんだ。」そのような思いでした。「作新学院が負けたのではなく江川が負けたんだ。」そのような印象でした。そして今、旬の話題として昨日も今日も山日新聞の風林火山には高校野球のことが書いてあります。朝日新聞は主催者ですからずっと取り上げています。地方大会の1回戦からテレビ中継があるような特別な夏の行事ですが、この資料をお読みいただいていると思いますが、『いつの日か「作新学院の江川」ではなく「江川の作新学院」になり、友達と離れて一人ぼつんと取材対応するようになり、それがこのチームを守るためだと思い込み、最後の1球で仲間になれた。』という内容の記事ですが、そのような苦労もあったのか、中継を見ていると誤解していたかな、クールなものはマスコミが作った映像であり、マスコミに作られた映像だったのかというような感じでした。当時を知らない方々には、もうたぶん「解説者の江川」ですが、根底にそのようなものがあると、そのような目で見てしまうのかと思いました。今日なぜこの話を出したかというと、江川や掛布のことを知りたくて出した訳ではないのです。これは昨年の新聞記事なのですが、偶々過去の新聞を見ていた時に今年も高校野球が始まるな、去年もいろいろな記事が出ていたな、と思いつつ

見ていたところ、こんな記事があったのだということで、取ろうと思っていた情報ではなかったのです。しかし、このような情報があると 51 年前の自分の見ていたものの影では、このようなこともあったのだという新しい発見があったという感じがします。しかし、おそらくインターネットや SNS では、今更江川や掛布など検索しないので、全然知らなかった情報だと思いますが、そのような情報もふらっと図書館に行く、ふらっと本屋さんに行く、本を手にとってみる、新聞を読んでみることで新しい情報に触れることができるのだらうと思ったので、今日紹介しました。新しい情報で、自分に必要ではなかった情報に触れることで想像力がかき立てられたり、あるいは新しい発見があったりして豊かな気持ちになっていくのかと思いました。情報の取り方、収集の仕方がこれからどのようにになっていくのか、今の子どもたちはどのようにになっていくのかと思います。新聞や辞書であれば、責任を持って発信されているけれども、大量に流れてくる情報は、真偽がはっきりしていない情報ですので、それをそのまま本当の情報だと思ってしまうことに危険性はあるし、自分で必要ないものをノイズとってしまうようなところが非常に心配だなと思い、それをちょうどこの間の報道番組で有識者の方がおっしゃっていたので、今日の資料と相まって紹介をしてみました。情報の取り方は大事であり、子どもたちも色々な方法で情報を取ってほしいということを思ったところです。

### ○議事録署名委員の指名

## ○前回議事録の承認

## ○教育長報告

教育長

それでは、8月の諸報告をさせていただきます。

資料をご覧ください。主なものについてご報告いたします。

5日、山梨県市町村教育委員会連合会第1回理事会が開催されました。

18日、宮城県気仙沼市議会総務教育常任委員会の行政視察を受け入れました。創甲斐教育に関すること、25人学級に関することなどを中心に視察をしたいとの要望でしたので、関係各課の課長が対応いたしました。

20日は、長野県川上村教育委員会の図書館視察を受け入れました。館長、司書が対応いたしました。

午後には、山梨県遺族会から、寄稿集「戦争を知らない世代へ」の寄贈に伴う贈呈式を行いました。

21日、甲斐市いじめ防止連携会議が開催されました。

23日、甲斐シティーロータリークラブ主催の甲斐市内中学生交流野球大会が開かれました。

26日、定例教育委員会が開かれております。

なお、今後の予定ですが、明日は、第1回総合教育会議が開催されます。ご出席をよろしくお願いいたします。

以上、諸報告とさせていただきます。

教育長

それでは、議題に入ります。議題の審議に入ります前に、議題第1号「令和7年度9月補正予算（案）〔教育費関係〕について」は、今後市議会など関係機関との協議等を必要とする事項であることから、また、議題第2号「令和7年度要保護・準要保護児童生徒の認定について」は、個人情報保護の観点から、非公開とさせていただきたいと思います。

そこで、非公開とするにあたり、甲斐市教育委員会会議規則第15条の規定により、討論なしで採決を行います。

委員の皆様にお諮りします。議題第1号及び第2号の非公開について、賛成の委員の挙手を求めます。

一 同

挙手

教育長

ありがとうございました。挙手多数であります。議題第1号及び第2号の非公開は、可決されました。よって、議題第1号及び第2号は、非公開とします。

○議 題

第1号 令和7年度 9月補正予算(案) [教育費関係] について

第2号 令和7年度 要保護・準要保護児童生徒の認定について

【ここから非公開】

教育長 非公開とした議題第1号及び第2号の審議が終わりましたので、これより公開いたします。

【ここから公開】

○ その他

(1)「甲斐市いじめ防止連携会議委員の委嘱等について」

事務局 (資料説明)

委 員 この甲斐市いじめ防止連携会議委員委嘱というのは、初めて今回提案していただいて、見させていただいているのですが、連絡会議設置要項が設置されてから約10年が経っています。平成27年3月1日設置要項とありますが、この間に何か個別事案やそのようなことはあったのですか。

事務局 この間、いじめ防止に関する法律というものの改正がございまして、より積極的にいじめを認知していこうという動きはございました。そのような中で、最近令和元年辺りからでしょうか、いじめの認知件数は、カウントとしては非常に多くなってきております。

ただ、これは問題状況が大きくなったということではなくて、教員、学校で、よりいじめをしっかりと認知し、対応することができるようになってきているという捉え方をさせていただいております。ちなみに、報道等でもありますいじめの重大事態といったことについては、これまでは発生しておりませんので、やはり学校と先生方に丁寧に対応していただいているのが現状であると思っております。以上です。

委 員 このような会議が設立されていて、児童生徒のいじめの未然防止、早期発見、早期対応を図るとともに、連絡調整を行いながら全ての児童生徒が安心して学校生活を送ることができる環境の実現を目的とすることで、大変心強いと思いました。感想です。

委 員 委員については、第3条の1番から10番まで、各関係機関や学校現場

や保護者の代表の方と幅広く委員に委嘱されているということで、このような形で進められていて良いのではないかと思います。任期の1年間は、4月1日から3月31日まででしょうか。

事務局

おっしゃるとおり、4月1日から3月31日までの1年間となります。

委 員

この会議は会長が必要とするときに招集するのですか。年に何回など定期的に開催されますか。会議の結果についてどのような形で報告されますか。会議結果の取りまとめと報告の仕方です。

事務局

こちらの会議は、毎年同じような時期、この8月の夏休み中の時期にまずは一度開催させていただいておりますが、今後やはり協議が必要になってきた場合においては、必要に応じて開催をすることになるかと思います。ただ、その中でいわゆるいじめの重大事態が発生し、調査を実施しなければならぬことになる、いじめ問題対策委員会という形で、いわゆる第三者委員会といったものを立ち上げて、そちらで調査対応していくような形になっていきます。そして、今回のこのいじめ防止連携会議の報告につきましては、議事録を取らせていただいております、まずは、この9月に行われる校長会の中で情報の共有をしていきたいと考えているところです。以上です。

教育長

校長会の代表も委員として会議に出席しますが、改めて市教委からも会議報告を校長会の中でもするという状況です。

その他ご意見、ご質問はございますか。

一 同

意見、質問なし。

## (2) 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について

事務局

(資料説明)

委 員

例年行われている全国学力・学習状況調査ですが、一番はその現状を把握して、もちろん子どもは、毎年対象が変わる訳ですが、その現状を把握し、成果や課題を認識して、そして課題に対して学校や現場において、その課題に対する取組を進める、また保護者とともに進めていくことが大事ではないかと思います。ただ、少し個人的に思うところは、山梨がそもそも全国より少し低い、甲斐市もだいたい同じか少し低いというような状況があって、小学校、中学校ともに全国、山梨県とほぼ同等の結果であるとは言いつつも、やはりその数値が全国と同等か上に なってほしい、などという希望も少し持つ訳です。その辺りがもう少し山梨も全国と同じ

ような状況になってほしいということを願っております。

教育長

ありがとうございました。誤解を恐れずに言えば、私はあまりそのようには思っていない。平均というものはあまり意味がないので、子どもたちにとって一人ひとりがどうかというところが大事なことになるので、随分前に制度が始まった時に、その時の教育長が「都道府県の結果なんて発表したら、都道府県ごとの競争になって、良いことは何もない。」とおっしゃっていたのですが、まさにそのとおりになってしまいまして、先日の新聞にも過去問を一生懸命やって、少しでも上げる。そうすると平均点が、うちの町は良くなった、うちの市は良くなった、また下がってしまった、そのようなことになって子どもはテスト漬けになって意味があるのか、というようなことが投げかけられていました。もちろんこれは一つの指標としては大事にするのですけれども、質問紙も大事にしたり、あまり一喜一憂しないほうが良いのではないかなということを少し思っています。正直なところはそのような感じです。多分委員さんもそう思っていると思うのですが、やはり平均はどうかというところも関心を持っていただいた、それはありがたいところだなと思います。

委 員

今教育長さんがおっしゃったように、テストに対する事前の取組ということではなくて、そこに出てきた課題について、日常の教育活動の中で、より良く伸びるように取り組むことが大事かと思っています。今お話しされたように、それに対して受験勉強などということは、本当にナンセンスというか適切ではないと思っています。

教育長

これを上手く活用していただいて、少しでも子どもたちに合った学習方法や学習環境、我々にすればどのように学校を支援できるか、そこが大事なことだと思います。ありがとうございました。

委 員

今の話に関連して、教育委員会の別冊の資料で甲斐市立中学校の学習状況と今後の取組について出されて、このような調査のための調査ではなくて、あくまでも改善や今後の取組に向けた調査、学習に捉えるのが良いのではないかと思います。ただ、あくまでも各校の実態や具体的なものはあると思いますので、それぞれ各学校で子どもたちの実態や調査に基づいて今後取組を考えていくべきではないかと思います。

1点質問ですが、学校調査の中学校の表紙のところですが、各教科によって人数が違いますが、14日から17日ということなので学校で教科によって実施日が違う、出欠席が違うということなのではないでしょうか。それが



お分かりになったら教えていただきたいと思います。全体的には、県や全国レベルとほぼ同じような傾向だということに見させていただきましたが、先ほども言いましたように、やはり調査のための調査ではなくて、今後それをどのように結果を出していくかというところが大事だと思いました。

事務局

人数の違いについては、特に理科のところがやはり気になる場所かと思いますが、そちらでよろしいでしょうか。理科が先ほど申し上げたとおりＣＢＴでの実施になったことで、各学校で実施日が違いました。この実施日というのは、各学校で決められるのですが、１校都合によってその日に実施できないという状況がございまして、そうなりますと、もちろんテストの結果等は記録されるのですが、公的な数字としてはカウントされない部分がありまして、そのような事情によるものになっています。

教育長

テストを受けてはいるが、公的な数字には表れてこない。そのようなことでよろしいでしょうか。

事務局

はい。

委 員

冒頭で教育長からお話がありましたが、やはり読書量や冊数が少ないということで、いつも学校訪問などをしていて学校教育の中では、子どもに本を好きになってもらうとか、家庭学習と読書の重要性について本を読んでもらえるような工夫をかなりされていると、図書館等を見ていてもとても思うのですけれども、やはり本を読む習慣は、学校教育の中で指導するには限界があると思っていて、やはり保護者や家庭でできることの方が大きいと思うので、保護者として頑張りたいというところもあります。本を読まないことで何が問題かということ、現在、表現力や思考力が問われるようになってきている中で、読書から得られる文章読解力や表現力、語彙を増やすことのような能力が、読書が少ないことで下がってしまうというような弊害があるかと思います。その部分は学校の授業でも、例えばＩＣタブレットを活用して一人でできることは家でやってきて、学校ではみんなと言語活動をすることでカバーできることもあると思うので、学校教育の中に今後生かすのであれば、読書量の少なさをカバーする取組を別の形でやれることもあると思いました。

もう一つですが、家庭学習のところでも、その学習をする意味を自分で理解しているかどうかというところがあると思うのですが、やはり学校の宿題の出し方次第で家庭学習の取組み方が、少し変わらと思うので、それ

が良くないと言っているのではないのですが、ひたすら漢字練習をやらせるなどということは、宿題を出す側としては楽だと思うのですが、やはり子どもが反復動作というか、意味を感じないというところも大きいと思うので、そこはやはり学校の中で宿題の出し方や自主学習の取り組み方の指導など、学校でも取り組みやすいと思うので、ぜひ今後考えていただきたいと思いました。以上です。

教育長

ありがとうございました。特に今の関係ですと資料の17ページ、「理科の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思いますか」というところですが、甲斐市の場合はプラスということですから、そう思っているお子さんも多いということです。そういったところも学習の仕方ということもあるかもしれません。21ページには「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いませんか」というところも高くはなっていますが、新しい学びや新しい知識を身に着けたいというときには大事なこともかもしれません。随分前ですけども研究授業を見に行ったときに、小学校5年生の『大造じいさんとガン』の授業だったか、そのような教材のときに、「どんな勉強をしたいの」と子どもたちに問うたときに、子どもたちが『ちいちゃんのかげおくり』の時にああいうことをしたよねとか、3年の時にあの勉強をしたよね、だから今度はこれをしたいなとか、国語の授業で子どもたちがそう言っているのをみて、国語でも過去にやったことを生かすことが、授業の仕方や、経験によって、そのような継続した取組ができるのだなと思いました。算数などは割と、足し算を使って掛け算を使って、というように継続がありますが、国語の授業でそれを見たときには、大事なことだと感じました。委員さんのご意見を伺ってそのようなことを感じました。

委員

思い出したのですが、いつか学校ごとの反省というか、振り返りというようなものがありました。その時にある中学校で、家庭学習について家庭に指導しているというようなことがありました。その中学校のその部分の結果は、結構良かったです。やはり家庭学習にしても、学校側から家庭の方をお願いというか指導というか、そういうことに取り組むと、それなりに成果が上がるのだと思いました。

教育長

その他ご意見、ご質問はございますか。

一同

意見、質問なし。

(3) 山県大貳生誕 300 年記念事業について

事務局 (資料説明)

教育長 1 番の合同講座、書道パフォーマンスや 3 番の講演会は、申込制となっていますが、まだ大丈夫ですか。

事務局 合同講座は、8 月 22 日現在の申込人数が、少ないのですけれども 58 人という状況です。その内に、書道体験をしたいという人が 17 人という状況です。

事務局 本の寺子屋事業ですが、広報等で周知いたしまして、9 月に入りましたら、電話にて申し込みを受け付けたいと思っております。

教育長 私も 6 月 21 日の「生誕 300 年山県大貳を改めて知る」という事業に参加したのですが、大変良かったです。学芸員さんの話も良かったので、委員の皆様も本の寺子屋もありますし、書道パフォーマンスもありますので、時間がありましたらご覧になってください。

委 員 山県大貳生誕 300 年というのは、注目を集める記念的な時期になりますので、せっかくですからここで大きく盛り立てて、様々な甲斐市の先達や偉人についての記録や歴史のようなものを色々と集めて市民が共有できると良いと思っています。生涯学習文化課が中心に各施設で物の資料や書いた資料や書籍などもあると思いますので、どのようなものがあって、山県大貳が活躍したのは市内ではありませんので、東京辺りの色々な歴史的情報を集めて、山県大貳についての知識を甲斐市内で得られるような窓口が、市の教育委員会の中にあると良いと思っています。希望を述べました。よろしくお願いいたします。

教育長 ありがとうございます。文化財全般については、部長が非常に詳しいのですが、市内にも大貳の資料が何点かあって、それらを見る機会もあるのでしょうか。

事務局 山県大貳に係る書籍やその他資料については、生涯学習文化課や市立図書館でも収集中です。さらに今年、郷土史の方で、教員をされていた方がお亡くなりになりまして、その遺族の方から図書の寄贈がございました。郷土史に関わるものなのですけれども、その中にこれまで市では所有していなかった大貳に関する書籍の寄贈もございました。山県大貳に関するものについては、甲斐市が所有するというような一つの特徴になるかと思っていますので進めていきたいと思っております。また、大貳は江戸で活躍をしているのですけれども、その前には千葉県の上野の代官や岩槻藩の

藩医もやっておりますので、また時間と計画を立てて岩槻や勝浦との関係も深めていきたいと思っております。

教育長                      その他ご意見、ご質問はございますか。

一 同                      意見、質問なし。

(4) 9月の行事予定について

事務局                      (資料説明)

教育長                      ご意見、ご質問はございますか。

一 同                      意見、質問なし。

○閉 会

教育長                      本日、本定例会に付議された議案の審議を全て終了したので本定例会の閉会を宣する。(午後2時45分)